

文系からエンジニアへ

高校3年生の時に何げなく見ていたテレビで、女性エンジニアがプログラムを組む姿にとても憧れを抱いた。既に文系大学への入学が決まっており、情報系の一般教養の授業もない時代だったため、大学在学中は独学でパソコンの勉強をした。大学卒業後、より専門性を高めようと、思い切って2年制の専門学校に入学し、憧れのプログラムを学んだ。数学は苦手だつたが「プログラミングはやるべき事をコンピューターが分かる言葉に書き換えているだけ」と

凛としている

理系女性の挑戦



対話・信頼でシステム構築

氣付き、私のような文系でもこの世界で生きていけると感じた。何よりプログラムが正常に動作した時の達成感に魅力を感じ、IT企業に就職した。

しかし、仕事でのプログラミングは甘くなく、力不足を痛感させられてしまつた。

理系基幹システムの仕様を理解する事はおかげで効率の良いロジックに落とし込む所も理系の同期たちに圧倒的な能力の差を見せつけられた。

アム構築

じまの部内の
「ルフに誘
うるやうに接
ぎけるよ

最近はおの飲み会うて頂き接する場になつた

れるよう、日々協力・日本女性フォーラム（J）である。

系基幹システムの仕事理解する事はおろ効率の良いロジック同期たちに圧倒的

能力の差を見せつけられてしまつた。

不足を痛感させら
れる日々は続いた
が、転機はやつて
きた。新入社員への
プログラム指導
で高評価を得ること
で新卒入社者と
指導主任として教
育にあたつた14年
(前列中央が村上
さん)

このスキルはシステム
になった時、お客様
とのやりとりでも生か
すことができた。目に
見えない複雑な仕組み
を言葉や図で表現する
ことで「あなたの資料
や説明はとても分かり
やすい」と言って頂く
ことができた。お客様
との信頼関係強化につ
ながり、文系から理
系に転身した私の強み
が苦勞して理解したこと
をピックアップし、
タイルが新入社員に好
評だった。

となつた。最近はおさまの部内の飲み会やゴルフに誘つて頂き、より親密に接する場も頂けるようになつた。プログラムというコンピューターとの対話で、憧れて入つたIT業界だつたが、システム構築は機械との対話ではなく、お客様や関係するメンバーとの対話や信頼関係で成り立つ、極めてコミュニケーション能力が重要な仕事だと思っている。

当社で16人目の女性管理職となつた現在、私も若手社員に追われる立場になつた。システムだけではなく人ととの信頼関係も構築でき、SEのロールモデ

ルとなれるよう、日々勉強中である。
企画協力・日本女性技術者フォーラム（WEF）
(火曜日に掲載)

住友電工情報システムソリューション事業本部 アシスタントマネージャー
村上 美和
むらかみ みわ
プロフィル／02年
入社後、住友電工グループの基幹システムの構築と保守を担当。14年より全社の若手育成、中国子会社のSFE指導も担当。



村上 美和

無断転載・複写禁止 ©(株)日刊工業新聞社